

# 今年度の豪雨災害を受けての情報提供

平成30年8月7日

仙台河川国道事務所

# 【平成30年7月豪雨】高梁川水系小田川での堤防決壊（岡山県） 速報

■平成30年7月豪雨では、岡山県の高梁川では、観測史上最高の降雨・水位を記録。

■これまでの最高水位を2m以上超過し、大規模な浸水被害が発生。



岡山県倉敷市真備町

## ■観測史上1位を記録した主な雨量観測所

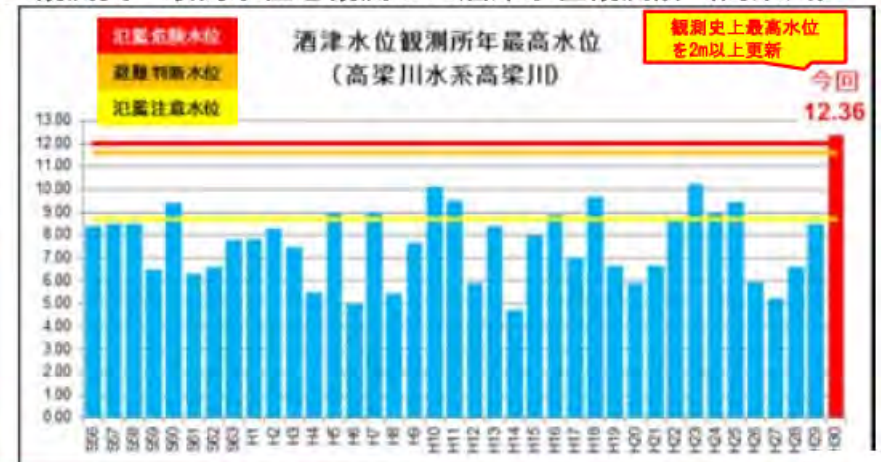
### 《48時間累加雨量》

- ・高梁川水系 にいみ 新見（岡山県新見市）：392.5 mm/48hr
- くらしき 倉敷（岡山県倉敷市）：260.0 mm/48hr
- ・芦田川水系 せら 世羅（広島県世羅町）：361.5 mm/48hr
- ・江の川水系 しょうばら 庄原（広島県庄原市）：381.5 mm/48hr
- ・太田川水系 みいり 三入（広島県広島市）：374.5 mm/48hr

### 《24時間累加雨量》

- ・高梁川水系 新見（岡山県新見市）：235.0 mm/24hr
- ・芦田川水系 世羅（広島県世羅町）：259.0 mm/24hr
- ・江の川水系 庄原（広島県庄原市）：256.5 mm/24hr
- ・太田川水系 三入（広島県広島市）：263.5 mm/24hr

## ■観測史上最高水位を観測した酒津水位観測所（高梁川）



※出典：平成30年7月豪雨による中国地方整備局管内の出水状況【第3報】7月16日（月）20時現在より抜粋

# 【平成30年7月豪雨】高梁川水系小田川での堤防決壊(岡山県) 速報

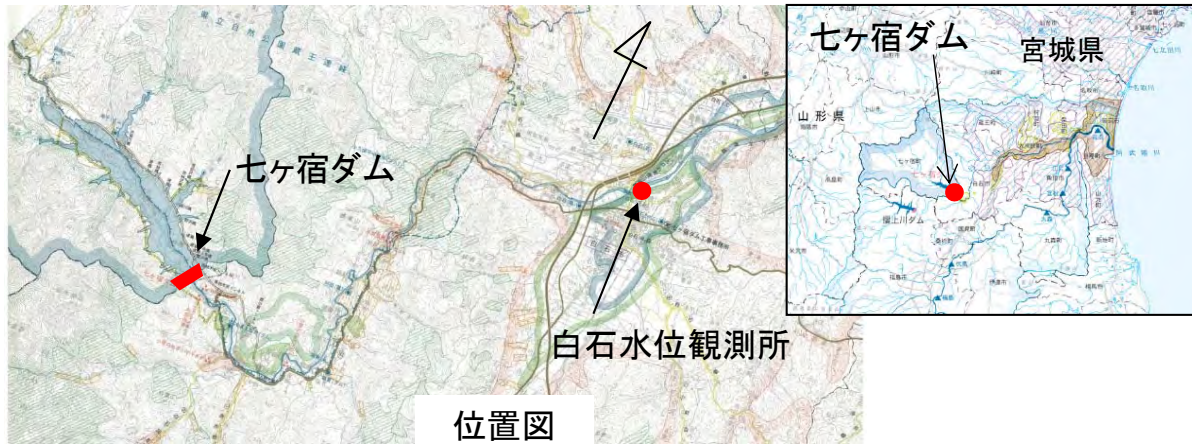
- 高梁川水系小田川では、倉敷市真備町の直轄管理の堤防が2箇所決壊し、浸水面積約1,200ha、浸水戸数約4,100棟の被害。
- その他、堤防越水3箇所、堤防法崩れ6箇所が発生。



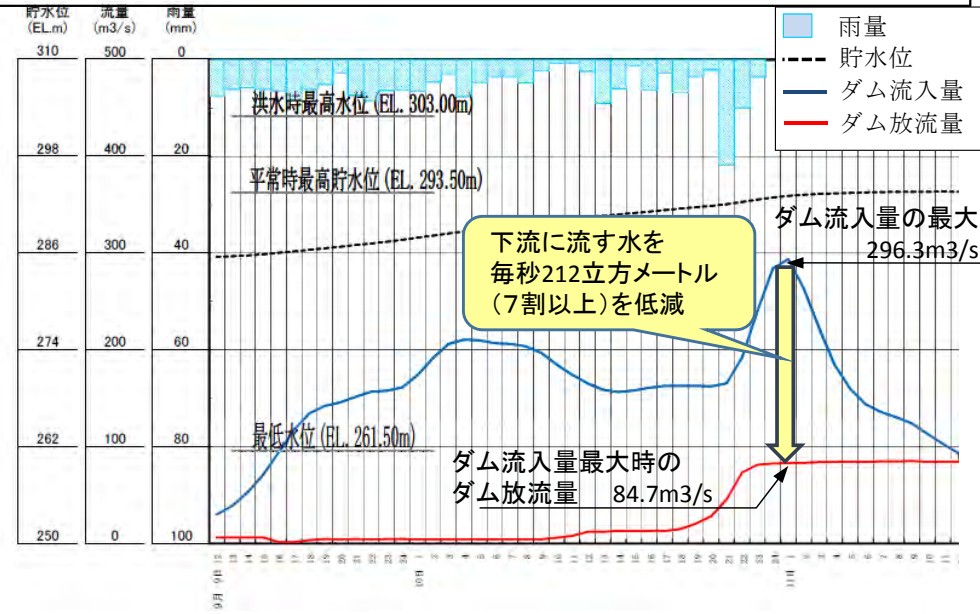
※出典:平成30年7月豪雨による中国地方整備局管内の出水状況【第3報】7月16日(月)20時現在より抜粋

# 阿武隈川水系 七ヶ宿ダムの効果（平成27年9月10日秋雨前線） ※速報値

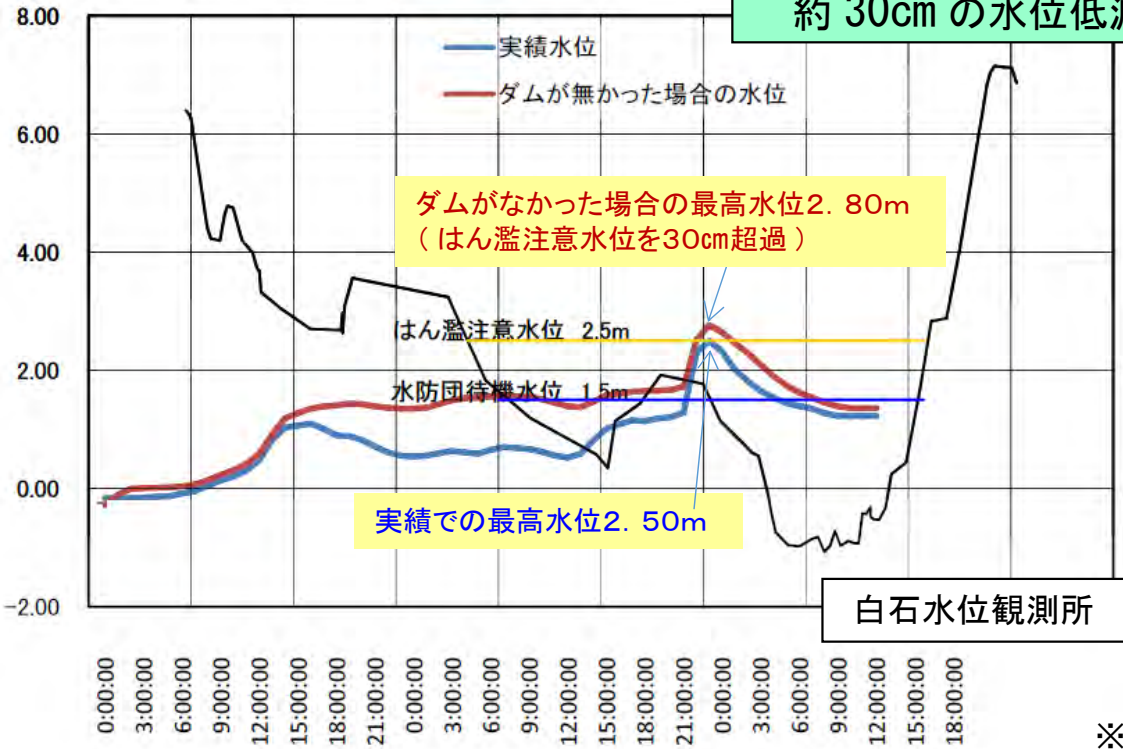
- 七ヶ宿ダム流域において、累加雨量280mmとなり、ダムへの最大流入量は296m<sup>3</sup>/sを記録しました（管理開始以降第9位）。
- 七ヶ宿ダムでは**最大212m<sup>3</sup>/秒の洪水を貯留し、下流水位の低減**に努めました。  
【約2,300万m<sup>3</sup>（東京ドーム約20杯分、ダムからの水道取水量100日分以上）の水をダム湖に貯めました】
- ダム下流の白石水位観測所付近では、洪水調節により**約30cm水位を低下**させ、**はん濫による危険性を軽減**させました。



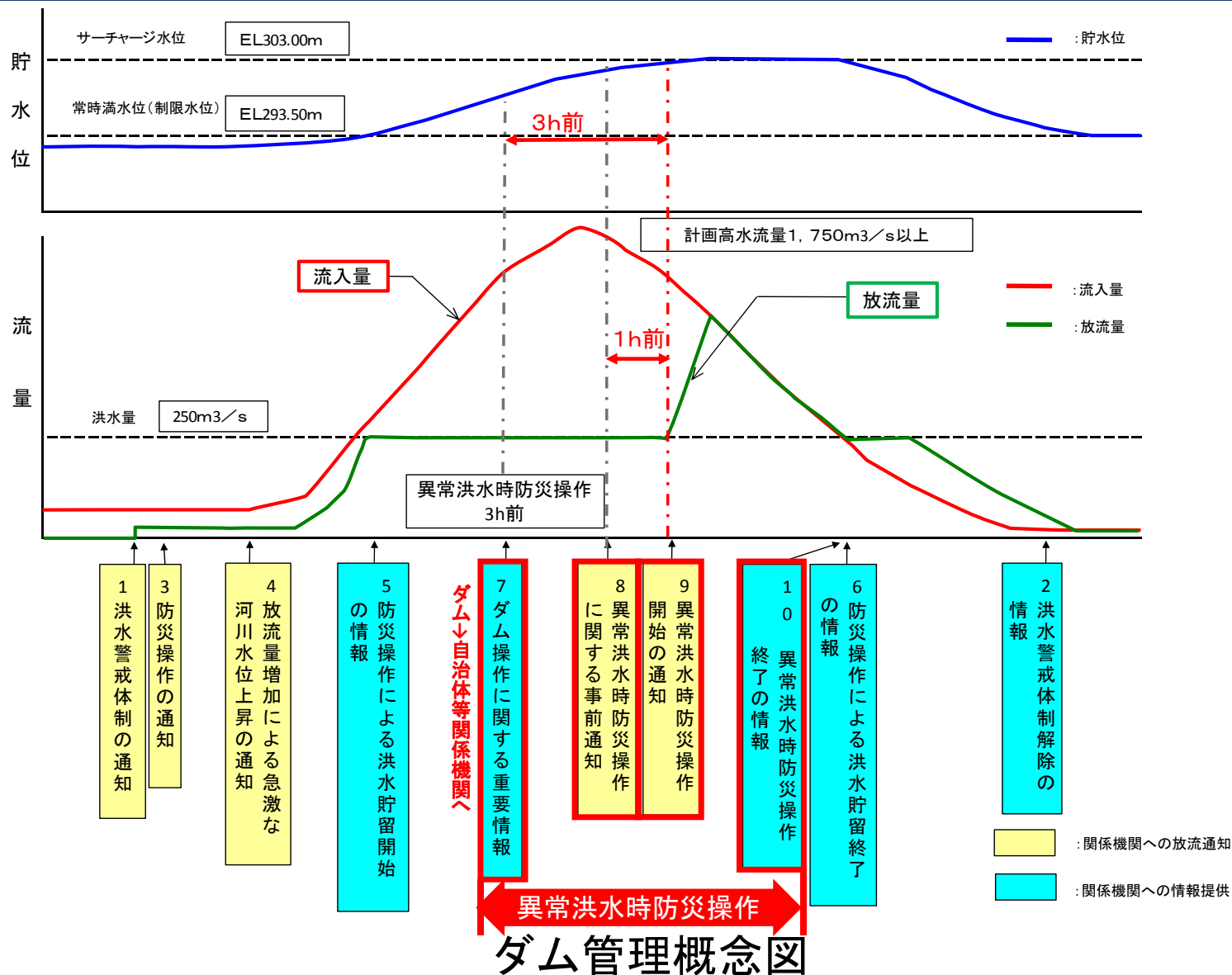
位置図



約 30cm の水位低減



# ◆異常洪水時防災操作について【七ヶ宿ダムでの計画高水流量規模での例】



# 堤防が決壊した場合には甚大な被害が発生

## ■平成10年8月 阿武隈川水系

○前線と台風4号の影響により、福島県南部を中心に記録的な豪雨となった。死者11人、重傷者9人、全壊17世帯、半壊14世帯、床上浸水854世帯、床下浸水1,211世帯等、甚大な被害が発生。



決壊した支川堀川が合流する白河市の浸水状況

## ■平成23年6月 子吉川水系

○梅雨前線に伴う豪雨により、記録的な洪水となり、子吉川、石沢川で堤防が決壊する等、甚大な被害が発生。



決壊した子吉川の堤防



決壊した支川荒川の堤防

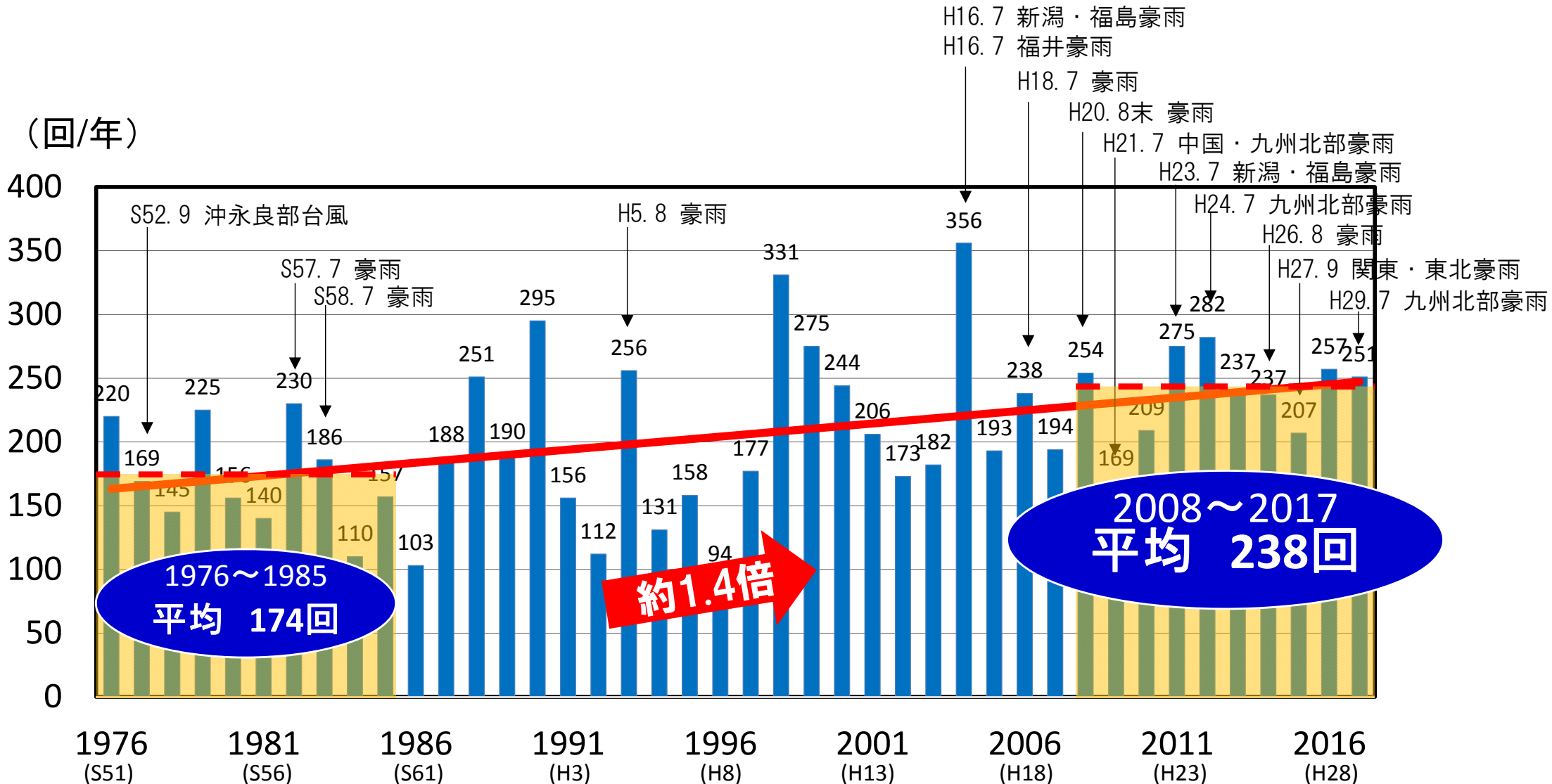


石沢川越水状況

決壊した石沢川の堤防

# 近年、雨の降り方が変化

- 時間雨量50mmを上回る大雨の回数がこの30年間で**約1.4倍に増加**し、近年多くの水害が発生。
- 気候変動の影響により、**水害の更なる頻発・激甚化が懸念**。



1時間降水量50mm以上の年間発生回数(アメダス1,000地点あたり)

※気象庁資料より作成  
(気象庁が命名した気象現象を追記)

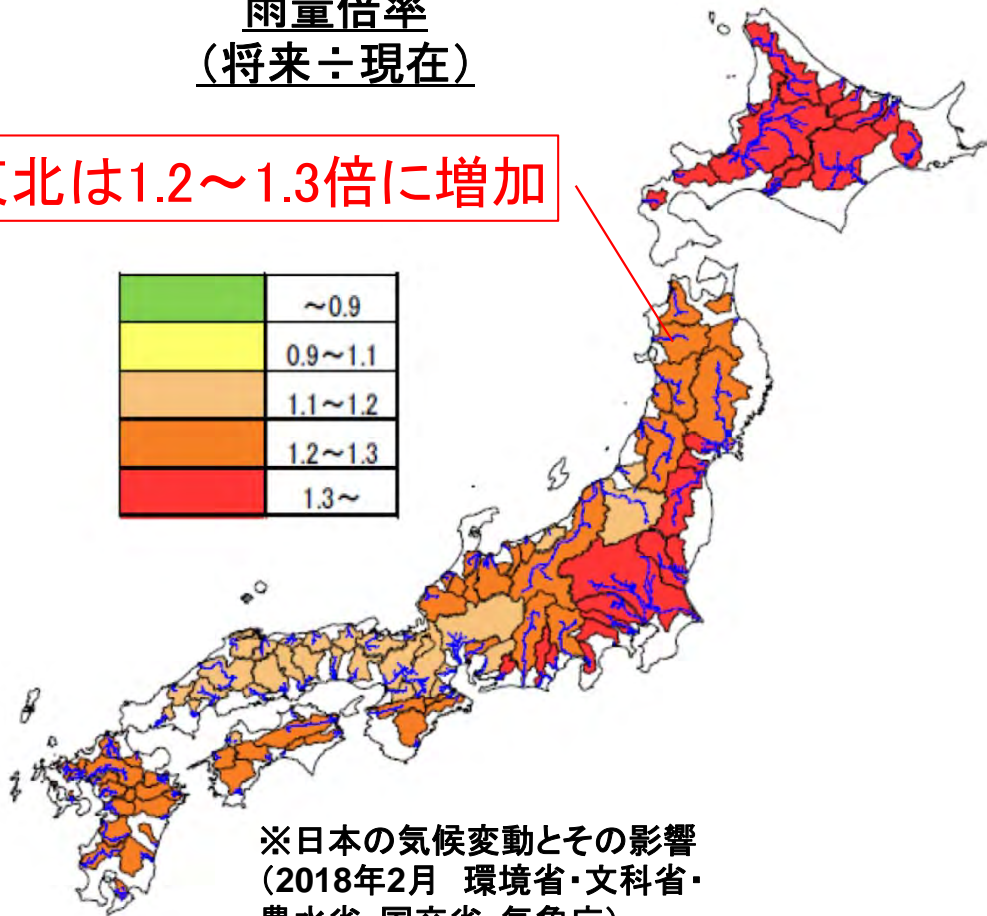
# 東北地方も雨の降り方が変化し、今後増加する見通し

- 近年（H25～H29）、**50mm/1h以上の観測が増加**。
  - ・平成25年度に**3観測所で100mm/1h以上**を観測。
  - ・平成26年度に石巻観測所で91mm/1hを観測。
- 気候変動の影響により、今世紀末の流域平均雨量が東北地方では**現在の1.3倍程度に増加**。

雨量倍率  
(将来÷現在)

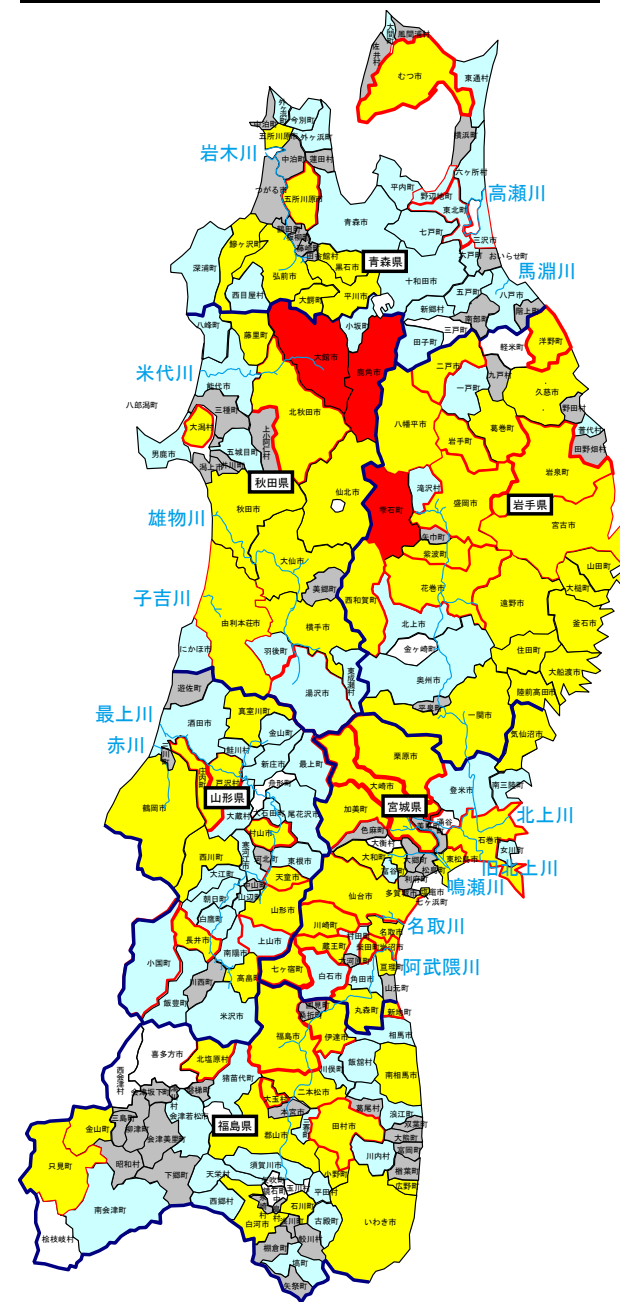
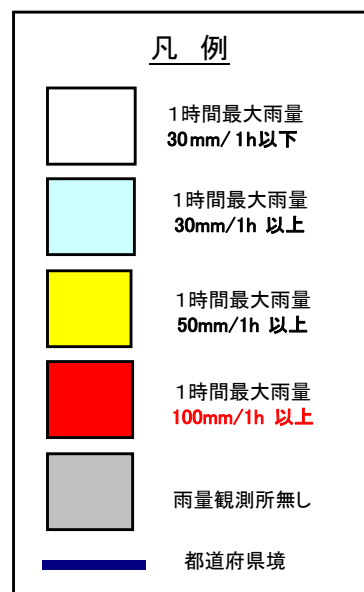
東北は1.2～1.3倍に増加

	～0.9
	0.9～1.1
	1.1～1.2
	1.2～1.3
	1.3～



※日本の気候変動とその影響  
(2018年2月 環境省・文科省・  
農水省・国交省・気象庁)

H25.1～H29.12  
1時間最大雨量の観測状況図



※気象庁雨量観測所(HP:気象統計情報)及び国交省雨量観測所(水文・水質データベース)のデータを基に集計・整理。



# 流量も増加する傾向

○ 近年（平成以降）、名取川、阿武隈川における流量は増加傾向。

